

寄稿

財政健全化と公立小中学校の

信頼回復に期待

川崎市議会議員 山崎なおふみ

川崎市長選挙

10月11日(日)告示 25日(日)投開票

衆議院選挙では国民の大きな審判が下った。有権者の関心も高く、区内において70%を超える投票率を記録したことは、大

衆議院選挙では国民の大きな審判が下った。有権者の関心も高く、区内において70%を超える投票率を記録したことは、大

い、過去6年間に目標額を上回る581億円の効果を上げた。今後においては将来にツケを残さないためにも、更なる歳出削減と市債残高の抑制に向けた将来像が示される必要がある。

また、義務教育課程である小学校、中学校は公立の学校が責任を果たすべき役割は大きい。しかし、区内の市立小学校卒業生の約4人に1人が私立中学校に進学をしている。一般的に、私学の学費は保護者にとって大きな負担となるが、それを押し下げることも、私学に通わせるということ、子どもたちによりよい教育を受けさせたいと願う親の希望である反面、公立の小中学校への信頼が揺らいでいることに他ならない。どのように公立学校の信頼を回復させるのかという視点は欠かせない。



山崎なおふみプロフィール

- 昭和48年生まれ。35歳
- 明治大学理工学部卒
- 妻と2人の子どもの4人暮らし
- 趣味は俳句とクラシック音楽鑑賞
- シーズンには42.195kmのフルマラソンを走る

〈直近の選挙における投票率(麻生区)〉

衆議院選挙 (平成17年9月11日執行)	70.36%
川崎市議会議員選挙 (平成19年4月8日執行)	50.58%
川崎市長選挙 (平成17年10月23日執行)	37.83%

人でも多くの有権者が投票所へ足を運ぶことを期待したい。

ブログ更新中!

山崎なおふみ 検索

ケータイからも見られます

